

令和4年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

音楽科

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
二年	○元気いっぱい歌うことができている。鍵盤ハーモニカを正しい奏法で演奏しようとする取り組みができている。	○3拍子と2拍子の違いを感じ取ることによって、拍の流れをつかむことができる。 ○鍵盤ハーモニカの奏法に気を付けながら、演奏する。	○3拍子や2拍子の特徴が顕著に表れている音楽を聴かせる。それらに合わせて身体表現やリズム打ちする活動を沢山取り入れる。		
三年	○リコーダーカードを活用して、姿勢、指使い、息の使い方を学習した。リコーダー学習に意欲的に取り組んでいる。	○階名唱に慣れ親しむ。 ○リコーダーの基本的な奏法を身に付け、簡単な曲が吹けるようにする。	○リコーダーカードを活用しながらレパートリーを増やすことで、意欲の持続や自信をもたせることにつなげる。		
四年	○自分の表現に自信をもたせ、のびのびと感じたままに表現することが豊かな表現につながることをたくさん経験させる。	○拍のまとまりを感じ取って、歌ったり楽器で演奏したりすることができるようにする。 ○曲想を感じ取ってのびのびと歌ったり聴き取ったりする。	○一人一人で歌ったりリズムをたたいたりする場面を多く設け互いを認め合ったりアドバイスし合ったりしながら、豊かな表現力を身に付けていく。		
五年	○歌唱においては、のびのびと歌える児童が多い。表現力の豊かさにおいては個人差がある。	○音の重なりを感じ取りながら二部合唱をする。 ○拍のまとまりを感じ取りながら、楽器を演奏する。	○ペア学習、グループ学習で友達同士の関わりを工夫しながら、みんなで協力して音楽を作りあげていく。		
六年	○のびのびと感じたままに表現することに苦手意識を感じている児童もいる。	○音の重なりを感じ取りながら二部合唱をする。 ○拍のまとまりを感じ取りながら、楽器を演奏する。	○ペア学習、グループ学習で友達同士のかかわりを工夫しながら、みんなで協力して音楽を作りあげていく。豊かな表現につながるようたくさん経験させ励ましていく。		